



# 飛騨っ子

令和3年5月27日 日発行 NO2  
 飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係  
 家庭教育推進専門職 : 水口 悟  
 TEL : 0577-33-1111 (内線 235)  
 E-mail : mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp



## 家庭教育（学級）を支える各地域の動きの紹介

### 1 PDCAサイクルを活かす（飛騨市：生涯学習課・子育て応援課）

飛騨市では、毎年、年度末に小・中学校（全8校）に対し「飛騨市家庭教育学級に関するアンケート」の取りまとめを行っています。アンケートをとること自体すばらしいのですが、そのまとめからは①担当課と小中学校担当者の連携により家庭教育学級が進められている ②PDCAサイクルが機能していることが伝わってきます。

#### <Q1 今年度(R2)の成果について：古川西小学校>

コロナ禍でこれまでのような活動はできませんでしたが、総合的な学習の時間とも関わらせながら、在宅取組型で「リンゴの皮むき体験（3年生：りんご栽培）や親子おにぎりづくり（5年生：米作り体験）を行いました。また、生活科等で親子デコマスクづくり（2年生）お手伝い大作戦（1年生）」を工夫して活動を進めました。

#### <Q2 来年度(R3)の計画について：山之村小中学校>

今年度の春に計画していた情報モラル研修会ができなかったため、来年度4月下旬のPTA授業参観に親子での研修会を行事計画に入れ込みました。情報機器（特にゲーム機器）を子どもたちが自律心をもって活用できるようにしていくために、親子で何ができるかを考える機会としたいと思います。



飛騨市家庭教育学級等リーダー研修会に合わせて、通信【飛騨っ子】のバックナンバーを今年も掲示するなどして、準備を進めていました…。リーダー研修会が予定通りできず。。。泣

今年はアンケートBOXを設置しました。「コロナ差別を誘発するようなことがないような取組や教育が必要になると思います」（参観者のアンケートより）

### 2 今ある「在宅取組型」を活かす（高山市：教育委員会・子育て支援課）

・高山市幼保小連携運営委員会（5/13 高山市役所）

高山市では毎年2回、幼稚園・保育園と小学校のスムーズな接続を目的とし「高山市幼保連携協議会」が開催されています。その取組の1つとして、市内全ての年長さん（全27園）たちが、小学校（全19校）に安心して入学することを願い、「就学までにめざす姿 朝のスタートプラン～にこにこカード～」に取り組みられています。この取組は今年度で9年目を迎えます。保護者にとって手軽で、コロナ禍でも在宅取組型として各家庭のペースで進められることが特徴です。実は、手軽さの中に子どもの側に立ったきめ細かな工夫があります。



①就学時検診時と入学説明会時の2回行われる ②にこにこカードの内容は2回目にバージョンアップする ③子どもの様子を保護者と学校職員・園職員が見届け本人に返す。プランの内容は、運営委員会で毎年見直され実態に合わせて改善が図られています。（R2 通信【飛騨っ子】NO9参照）



飛騨地区(3市1村)家庭教育学級リーダー等研修会 研修資料アンケートより  
(現場の声…ありがとうございます! 一部を紹介します。)

Q5 あなたの所属で行われている家庭教育学級について、お気づきの点があればお書きください。どんなことでも結構です。

コロナ禍の今だからこそ、家庭の教育力が問われると思います。学校から保護者や地域住民に対する働きかけを大切にしたいと思います。  
(中学校職員)



本校でも年に数回“在宅取組型”を行っています。同じ取組を継続してきたことで、「次はこのめあてにチャレンジしよう!」など各家庭で見通しを持って取り組んでもらえるようになりました。例)ノーマディアチャレンジ,夏休み一家庭一ボランティア (小学校職員)

親子体操,給食レシピ,食べやすいお弁当などを保護者の方に紹介しています。P4(参加状況)にあるように家庭教育学級に参加する方が少ないのと同様で、関心を持ってくださる方がいるものの、そうでない方が多いのも実情です。今回は研修に参加できずに残念でした。皆で動画を見たりお話を聞いたりできたら、もっと勉強になったことと思います。  
(園職員)



本校のPTAは、『あすなろっこ活動…一緒に家事をしてみよう』に取り組んでいます。内容は、食事・掃除など自由。年に2回の取組。①母親だよりにて取組の紹介 ②各家庭における取組 ③あすなろっこ活動アンケートの実施(子ども+保護者)④母親だよりにてアンケート集計結果を掲載(家事の内容,子どもの感想・保護者のコメント) (小学校の保護者)

例年行っているから…ではなく、皆の声を聞き真に必要なかどうかをよく考え,企画・実施していきたい。やらされ感のないものとなるよう意識して行いたい。  
(中学校職員)



家庭の事や子育ての不安や悩みを誰かに話したいよ思っている方は多いように思うが,支援センターや検診等で自分から話せる人ばかりではないと思うので,思いを気軽に話せる雰囲気をどのように作っていったらよいかと改めて感じた。コロナ禍で定期的な乳幼児学級の開催が難しいので,親同士のつながりが希薄にならないように工夫していきたい。  
(子育て支援センター職員)

実践例が分かりやすく示されているので大変よく分かりました。コロナ禍により保護者の皆さんに集まって頂くことが難しいので,在宅取組型で何かできないかPTAの皆さんと考えてみたいと思います。  
(小学校職員)

